

# 令和8年度 学校経営計画書

石川県立金沢桜丘高等学校

学校長 石尾 和彦

## 1 教育目標

- (1) 真理を愛し、知性を磨き、自律的で創造性のある人間を育成する。
- (2) 生徒の能力と個性の伸長をはかり、健全な心身を育成する。
- (3) 自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協調できる情操豊かな人間を育成する。
- (4) 広い視野に立って郷土を愛し、国際性豊かな人間を育成する。

## 2 中・長期的目標

### (1) 学校の現状

- ア 入学当初における生徒の進路希望は、国公立四年制大学が90%を超えており、教職員は一丸となって生徒の進路実現に取り組んでいる。
- イ 多くの生徒が誠実に学校生活に取り組んでおり、学習活動や部活動において成果をあげているが、一方で、勉学と部活動を両立させ、入学当初の進路希望を達成する生徒の割合は、必ずしも十分であるとは言えない。集団の力を活用しながら個に応じた指導のあり方や、生徒が自らのキャリアパスを描き、見通しをもって自己実現できるような支援体制を構築する必要がある。
- ウ 「いしかわニュースーパーハイスクール」指定校として、「総合的な探究の時間」の活動や各教科の授業の中で論理的な思考力と豊かな表現力の育成に取り組んでいるが、教科学習と探究との往還を意識しながら実践的な総合知を育むための探究的な学びをさらに充実する必要がある。

### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ア 校訓「質実剛健」のもと、校是「文武両道」を実践する中で、主体的に自らのキャリアを考え、確固たる意志を持って目標に向かって努力する、心身ともにたくましい人間を育成する。
- イ 「いしかわニュースーパーハイスクール」の取組を充実させるとともに、グローバルな視点に立って他者と協働しながら課題解決できる人材の育成を図る。
- ウ 生まれ育った郷土や地域社会に関する理解を深めるとともに、防災に対する意識を高め、より良い持続可能な社会や未来の創り手を育成する。

### (3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ア 教職員一人ひとりが学校経営への参画意識をもち、時代の変化に対応した柔軟で組織的な学校運営を目指す。
- イ 教職員一人ひとりが常に自己研鑽に努め、学校全体として質の高い教育活動を実践する。
- ウ 保護者や地域の期待に応え信頼を得られる、開かれた学校を目指す。
- エ 組織運営の合理化・効率化及び業務の平準化に努め、教職員一人ひとりが生徒と向き合う時間が充分にとれる職場環境を整える。

## 3 今年度の重点目標

- (1) 主体性を引き出す「質の高い授業」と「自分の探究を語ることができる学び」を創造する。
- (2) 志望へのこだわりを掘り起こし、粘り強い努力を支え抜く「伴走型の進路指導」を実践する。
- (3) 校訓「質実剛健」のもと、自らを律し、他者を尊重できる「内省的な生徒指導」と生徒に寄り添う「組織的な教育相談」の充実を図る。
- (4) 校是「文武両道」の実践を目指し、限られた時間の中で、「高め合い分かち合う部活動・学校行事」を充実させ、本校の魅力として発信するとともに、学校の見える化を進めることで「協働的な保護者との信頼関係」を構築する。
- (5) 学校安全・防災力を高めたり、様々な教育課題を解決するために全教職員による「貢献的チームワーク」を構築するとともに、新しい挑戦や生徒と向き合うための「余白を生み出す働き方改革」を推進する。